



H20年12月1日 発行

発行人・編集人：MDM チーム

発行：株式会社 松前屋

大阪市中央区心斎橋筋 2-8-1

TEL(06)6213-0084 FAX(06)6213-5172



そろそろ寒さも厳しくなってきました。最近はおエコロジーな[湯たんぽ]が目目とか。店頭には可愛いカバーが並んでいます。わが家の金属製湯たんぽにも一枚買おうかなあ…と思うこの頃です。さて、寒さに負けず本年最後の松前屋通信スタート！

綾部が行く！  
心斎橋レポート

## 心斎橋は心配橋？大阪三十三今昔



年末に向けて恒例のクリスマスネオンが点灯した心斎橋商店街、華やかなムードのはずなのに、なんだか通りが広く寂しく感じられるような気がします。どうしてかなあ？たぶん外国からのお客様、特に韓国人観光客が大幅に減ったから。大型観光バスの台数もめっきり減りました。統計によりますと、円高の影響で韓国人観光客は8割減だとか。

さて、今でこそ道頓堀はコテコテの大阪を代表する観光名所となり、ソースの香漂う粉モンのメッカになっていますが、その昔はというと・・・、歌舞伎や人形浄瑠璃を演じる人気劇場が集中し「道頓堀五座」と呼ばれたエリアで、大阪の文化の中心地でした。心斎橋通りも芝居の見物客にお土産や、おやつを売る店が集まって発展したのだとか。やがて、演劇が廃れ映画館が娯楽の中心となると、大阪商人たちは巨大なグリコのネオンを建て、カニを動かして人を惹きつけてきたわけです。バブル期の後の集客には特に困っていましたが、商業ビル化させて様々な工夫で持って時代の変化に柔軟に反応してきたのです。



「浪花座」跡のテーマパーク【道頓堀極楽商店街】も来年三月で閉鎖に

ここ数年は外国人観光客のメッカにもなって、勢い込んでいた矢先に、この10月からの世界不況にあって、韓国人観光客などはキャンセルの嵐となったわけです。

さあ～て、観光名所としての道頓堀・心斎橋は、今また変化の局面にきているのかもしれない。心斎橋は、商売人の中ではその昔から「しんぱいばし」と言われてきました。パアッと派手にお店を構えて商売しても、アツという間にワヤ（＝だめ）になってしまう、心配の尽きない土地という意味なのだそうです。

松前屋はその『心配橋』で店を構えてしごとく100年…。お客さまの心に真摯に向き合いながら、時代の要請にこれからも柔軟に対応していきたいものです。あ～、しんぱい！

### 健康法師の独り言 パート23

## デトックス話の難しさ！



デトックスの重要性をお話してきましたが、いよいよ話は佳境に入ったかと思いきや、23・24号の予定原稿が検閲にあり、社内の良識派に却下されて没にされてしまいました。何度も書き直しをしたのですが、話題が食品会社には似つかわしくないと大反対され、皆様にお伝えできず、誠に残念です。

そこで、この2つの原稿にある重要な情報を無機質に（できるだけサラリと）お伝えする方向で、デトックス話を終了しようと思います。

さて、NY在住のドクター新谷氏の大阪講演を拝聴しました。この方は腸の内視鏡手術を編み出したこの道の権威ですが、西洋人に比して日本人はポリーフが簡単に癌化するらしいのです。アトピーなどの皮膚病も腸の中から治すべしとのお達しで、便秘はもつてのほか！しかし、下剤は腸を痛めるということで、**（腸内洗浄）**をお勧めです。巷では家庭用のキットがかなり売れておりまして、その名も『**コーヒー・エネマ**』！

なんと、**コーヒー**なのです。体験談は■■■■。残念ながら、お伝えできません・・・）

コーヒー・エネマは通常人にはかなりマニアックに思えるようで、私の周りでも大不評でした。（究極のデトックスなのですがねえ……。）よって、もう少し現実的なソフト路線のものをご紹介いたします。

夜のテレビ通販で出会ったのですが、『**爽臭革命**』（そうしゅうかくめい）というサプリメントがそれです。この商品は、シャンピニオンエキス（きのこ由来成分）が腸内まで達してお掃除をしてくれることに着目したもので、口臭や便臭・汗臭を弱め、加齢臭にも効果あり！という切り口で販売しております。これらの体臭は、すべてその発生源が腸内にあるということなのです。メカニズムからしてデトックス効果が高く、痩せる可能性もあるというのに、切り口は『**臭い消し**』というところが大いに気に入りました。



↑こちら爽臭革命

これは簡単に使えます！『エネマ』と違ってこれは社員にも評判がよく、効果も確認されておりますので、是非とも気長にお使いただければと思います。これにてデトックスに関する情報は終了といたしました（あ、もっと語りたかったのに！）